

# 「あんた」、「おまえ」、「きさま」、「てめえ」について 国会会議録コーパスを用いた社会言語学的研究

長井 友香

## 1. はじめに

本研究は国会会議録コーパスを用い、「あんた」、「おまえ」、「きさま」、「てめえ」という呼称に関する分析を行う。使われる頻度の変化、どのような人が使っているか、またどのような時に使われているのかについて調べる。

## 2. 国会会議録について

### 2.1 国会会議録とは

現在利用可能な会議録は1回国会（1947年5月開会）以降の本会議全ての委員会等である。よって、日本語各地出身である成人の、戦後60年近くにわたる改まった話し言葉での膨大な発話記録がある。

また話者（議員の生年で考えると、19世紀半ばから20世紀半までとなり、理論上は100年にわたる範囲の話者を納めていることになる。しかもそれが簡単に検索できる状態に置かれている。言語研究者として、国会会議録を日本語コーパスとして使うことに魅力を感じる。

これほどまでに大量で、口語的性格を多分に残した上に時間的幅を持った電子化現代語資料は、日本語コーパスが一般化した昨今においても、かなり珍しいものである。製文という言語研究者には欠点になる部分はあるとしても、むしろこのような会議録の性質を生かした活用法を考えるのが、妥当な姿勢であろう。（松田謙次郎2008）

### 2.2 国会会議録に含まれないもの

国会会議録に含まれないものを、松田(2000)を参考にまとめた。以下のとおりである。

・議長の許可を得ない発言（「不規則発言」簡単に言えば「やじ」のこと）

- ・秘密会記録
- ・不穏当な発言
- ・プレス・コード（日本に与える新聞準則）

### 2.3 言語資料としての問題点

言語資料としての問題点を松田(2000)を参考にまとめた。以下のとおりである。

・OCRによる誤字脱字（第145回国会（1999年1月開会）以降のデータは入力した原稿がそのまま電子化。それ以前のものは紙媒体バージョンをスキャナで読み取り、OCRで文字に変換。）

・外字処理

- ・製文の問題

## 2.4 言語資料としての位置づけ

字句の整理を経た会議録は、言い誤り、冗長性、繰り返し、語順の乱れなどといった自然談話的特徴が修正されている。また、質問・答弁で原稿や資料を読むことも多い。これでは全く自然談話とはいえない。したがって、口語的特徴も多分に残しているが、書き言葉と話し言葉の中間的なものと位置づけるのが良いだろう。（松田謙次郎2008）

## 2.5 先行研究

吉津(2004)は国会会議録に現れた呼称の問題を取り上げている。

## 3. 方法

国会会議録検索システムを使用し、1950年、1960年、1970年、1980年、1990年、2000年、2010年の全発話から「あんた」、「おまえ・お前」、「きさま・貴様」、「てめえ・てめい」を抜き出す。

議員の発話をダウンロードした後、エディタを使用し抜き出されたものが、データとして満たしているかの確認。例えば「なお、前回の〜」、「進むべききさまさまな〜」のようなものを省くためである。

相手に直接言ったものか、引用として言ったものかの判定。例えば「お前に聞いているのではない」は直接。「国民にお前たちの生活なんて知らぬと申すのか」は引用。今回、直接言われたもののみ使う。

発話者のプロフィールをエクセルに入力、分析。

## 4. 用例数について

### 4.1 代名詞別に用例数の数字による比較

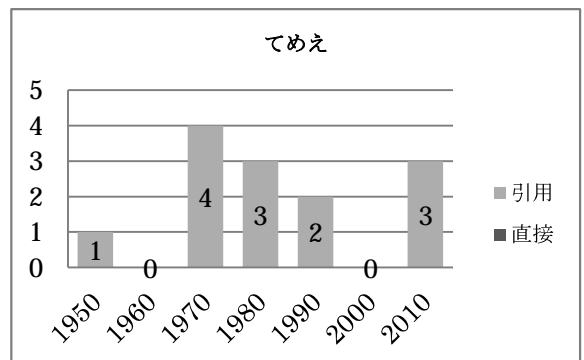
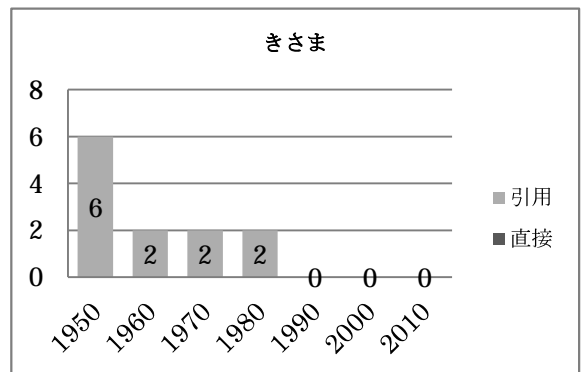
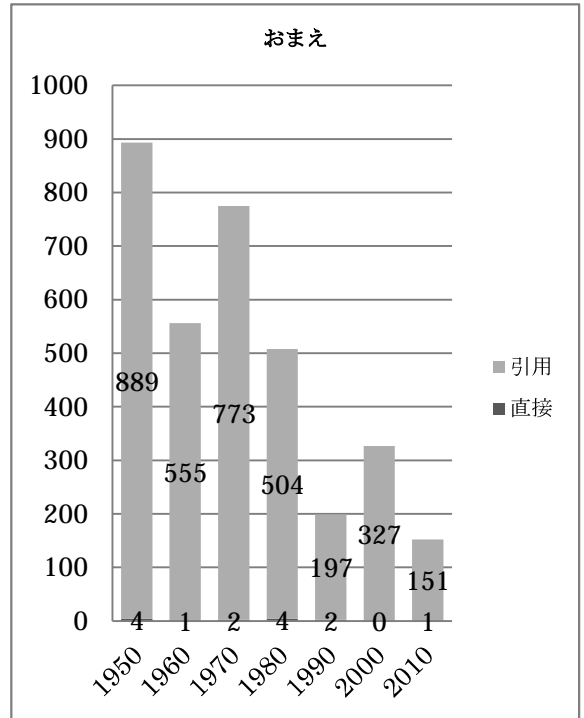
各語の1950年と2000年における用例数は以下の通りである。

「あんた」	1950年 69例（直接55例、引用14例）
	1960年 71例（直接59例、引用12例）
	1970年 138例（直接112例、引用26例）
	1980年 174例（直接131例、引用43例）
	1990年 43例（直接18例、引用25例）
	2000年 65例（直接3例、引用62例）
	2010年 57例（直接5例、引用52例）
「おまえ」	1950年 893例（直接4例、引用889例）

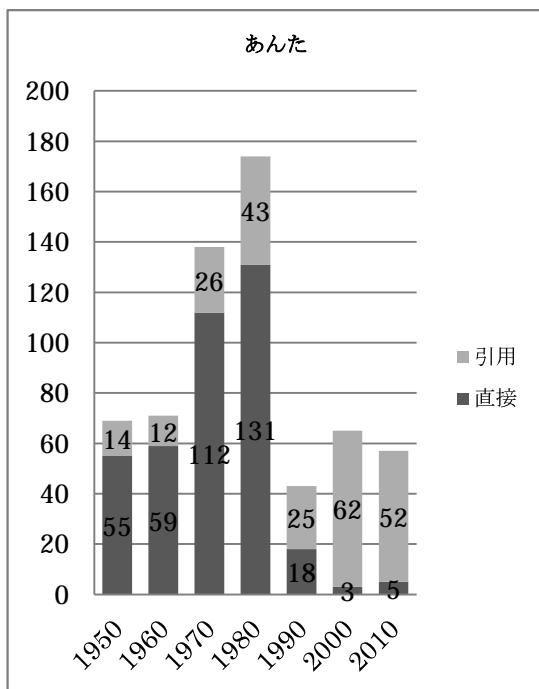
1960年 556例 (直接1例、引用555例)  
 1970年 775例 (直接2例、引用773例)  
 1980年 508例 (直接4例、引用504例)  
 1990年 199例 (直接2例、引用197例)  
 2000年 327例 (直接0例、引用327例)  
 2010年 152例 (直接1例、引用151例)

「きさま」 1950年 6例 (直接0例、引用6例)  
 1960年 2例 (直接0例、引用2例)  
 1970年 2例 (直接0例、引用2例)  
 1980年 2例 (直接0例、引用2例)  
 1990年 0例 (直接0例、引用0例)  
 2000年 0例 (直接0例、引用0例)  
 2010年 0例 (直接0例、引用0例)

「てめえ」 1950年 1例 (直接0例、引用1例)  
 1960年 0例 (直接0例、引用0例)  
 1970年 4例 (直接0例、引用4例)  
 1980年 3例 (直接0例、引用3例)  
 1990年 2例 (直接0例、引用2例)  
 2000年 0例 (直接0例、引用0例)  
 2010年 3例 (直接0例、引用3例)



#### 4.2 代名詞別に用例数の図表による比較



図表1 代名詞別に用例数の図表による比較

### 4.3 結論

「あんた」は引用、直接とも多く使われている。「おまえ」は主に引用として使われている。「きさま」や「てめえ」は、あまり使われていない。

「あんた」と「おまえ」は1990年から用例数が極端に減少している。「きさま」は1990年以降使われていない。「てめえ」は目立った変化はみられなかった。

その要因として以下のことを考えた。

・言語形成期に、テレビやラジオの普及により、何らかの影響を受けたのではないかと。→これは、年代的に可能性が低いと考えた。

・1980年から1990年に議員のカゼ当たりが強くなったのではないかと。→これは、1988年にリクルート事件、1992年に佐川急便事件が起きている。これにより国会中継がテレビでよく取り上げられるようになった、もしくは国民が関心を持ち、見るようになったことにより、イメージを損なわないよう喧嘩ごしな表現を避けるようになったのではないかと考える。

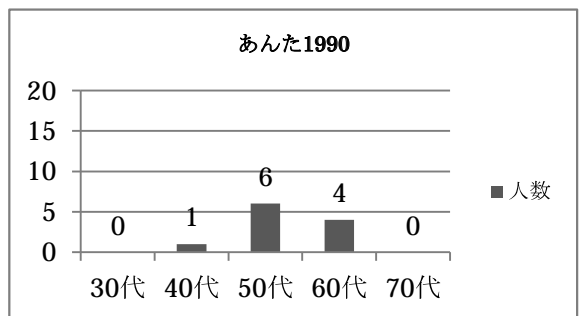
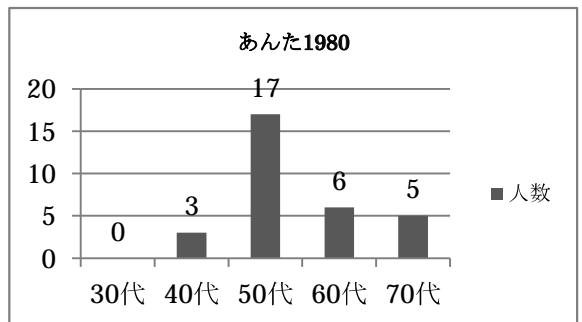
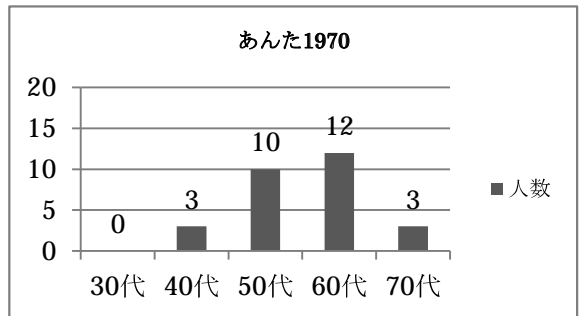
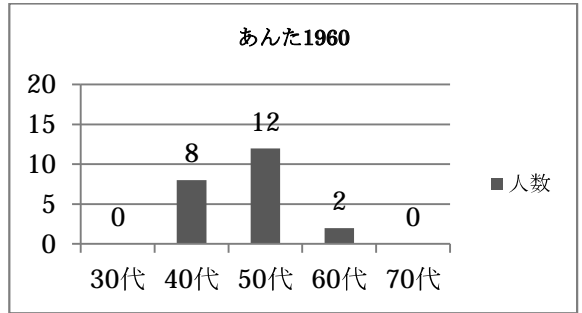
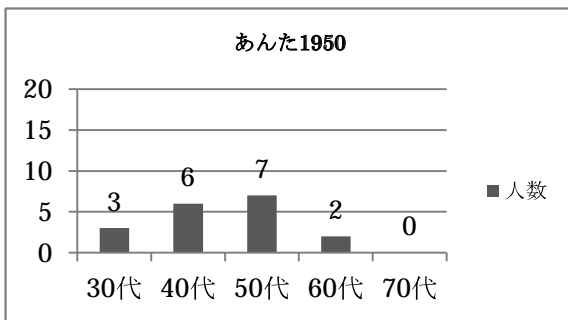
・バブル崩壊により元気がなくなったのではないかと。→これは、精神的、経済的打撃を受け、敵を作るまいと発言に注意したのではないかと考える。

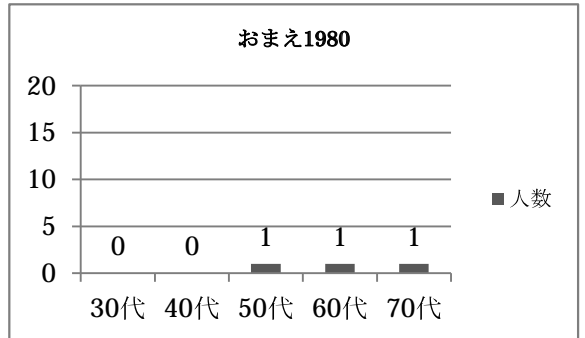
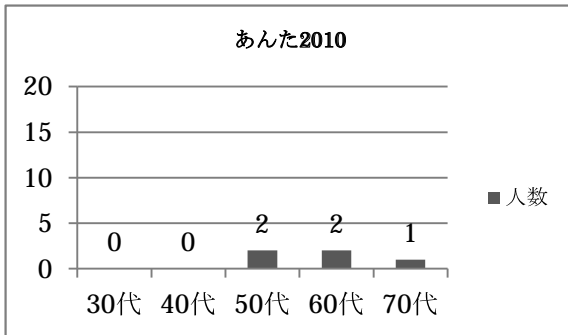
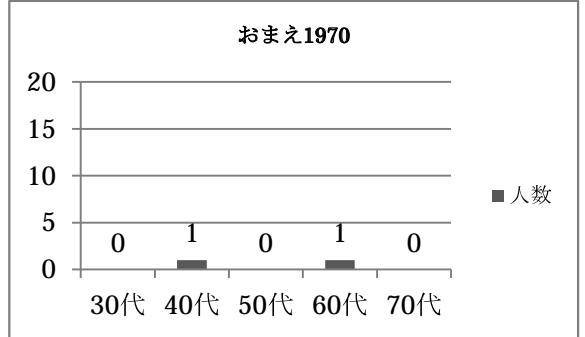
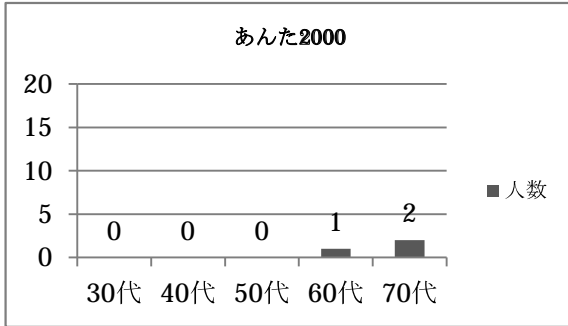
・差別用語が厳しくなり言葉に気を付けた。

以上のことを推測した。

## 5. 発言者について

### 5.1.1 代名詞別に年代を比較。数字=人の数

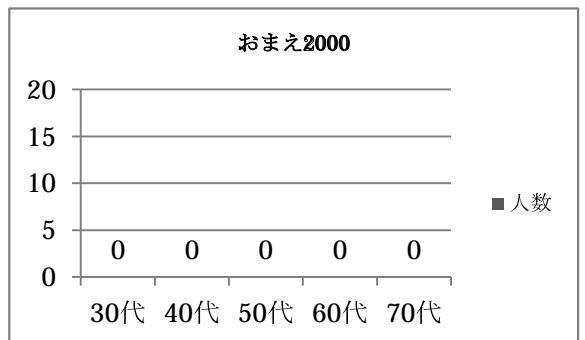
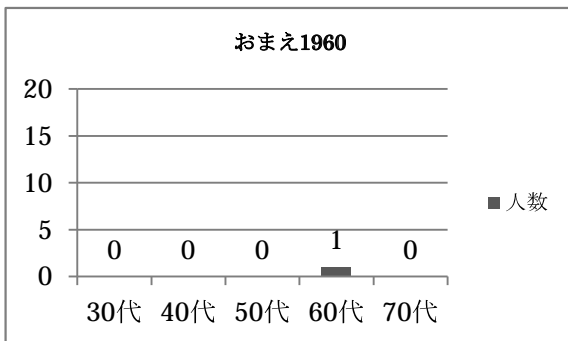
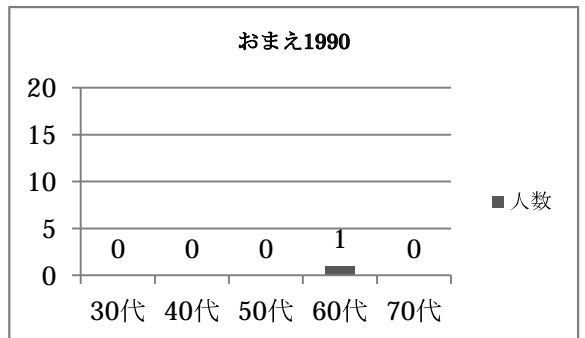
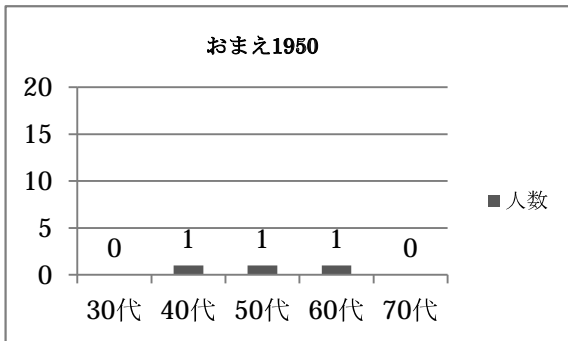


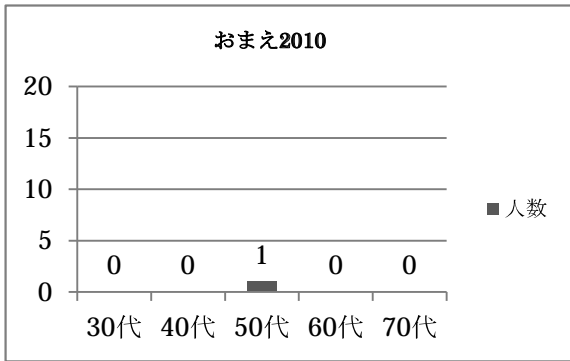


**図表2 「あなた」年代比較** 数字=人の数

1950年、1960年、1970年、1人ずつ不明。

1950年は、30代、40代、50代が中心であったが、だんだん50代以降が中心になってきた。



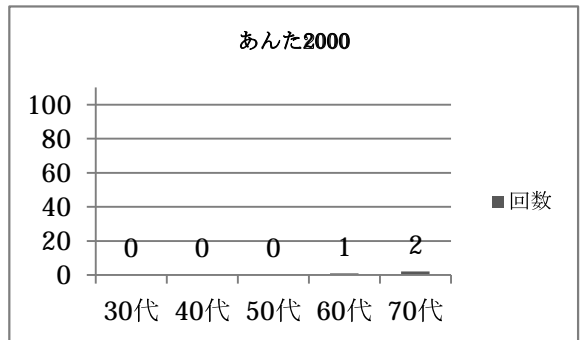
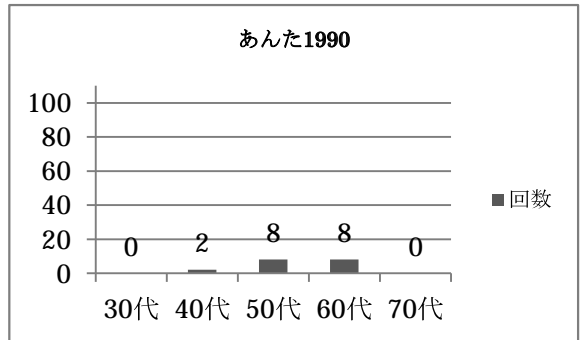
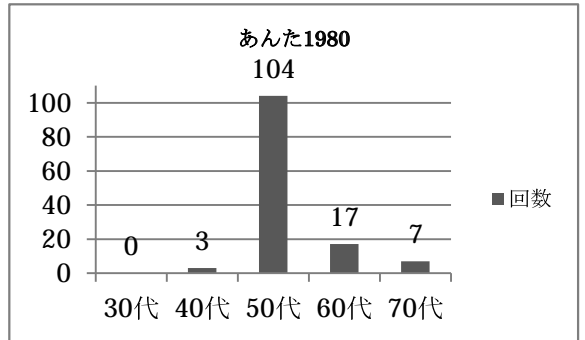
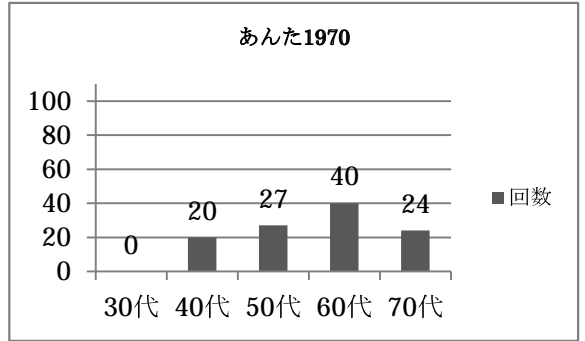
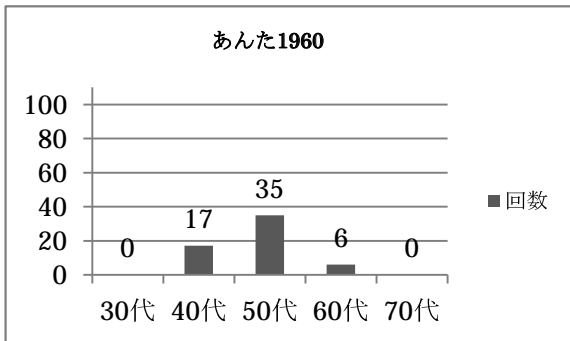
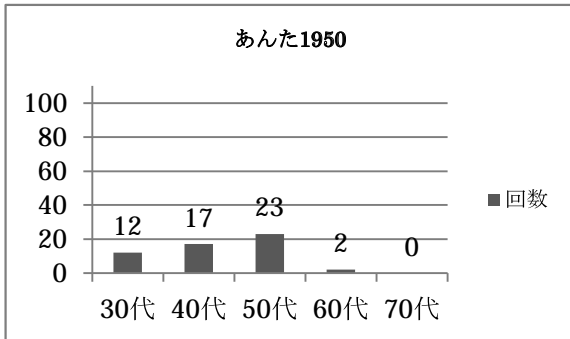


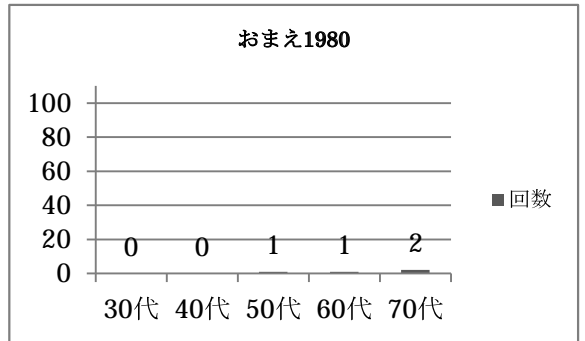
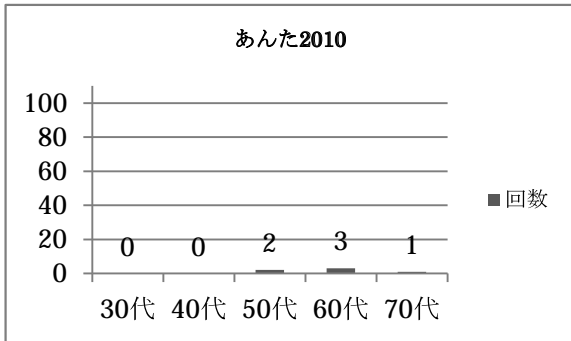
**図表3 「おまえ」年代比較** 数字=人の数

1950年1人不明。

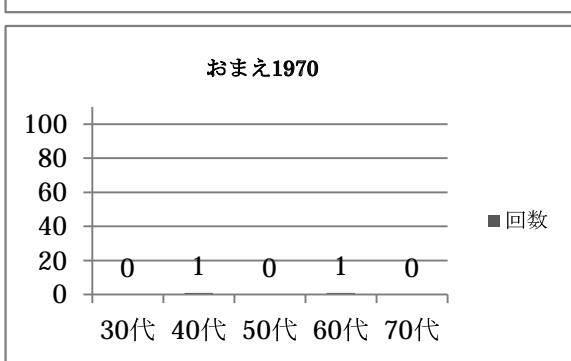
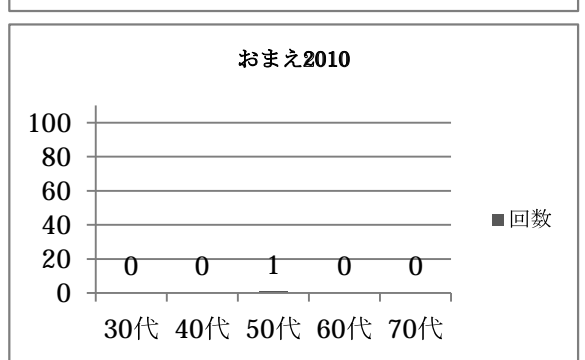
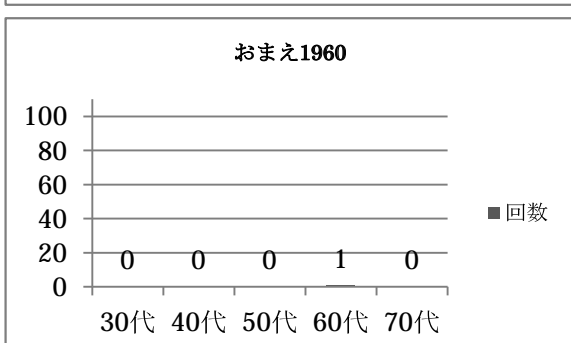
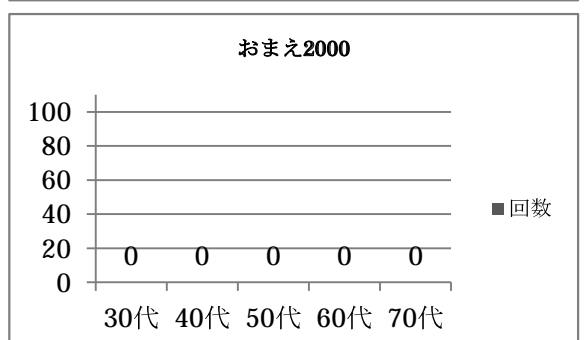
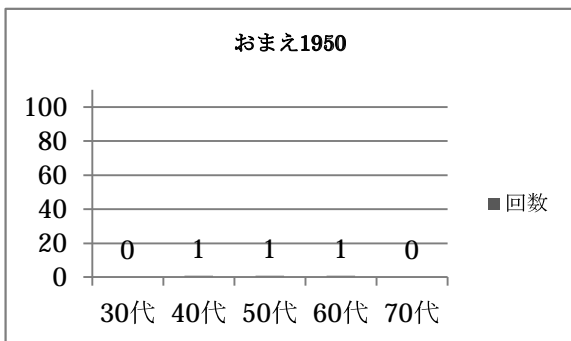
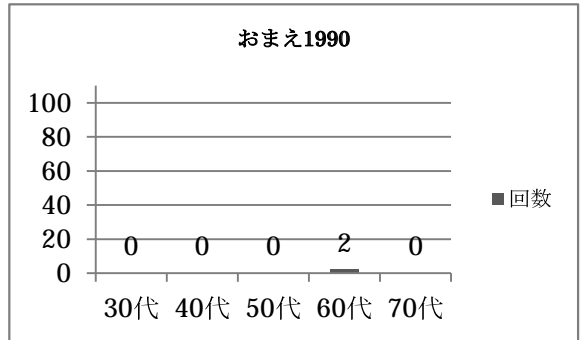
数が少ないので何とも言えないが、30代の発言者はいない。

**5.1.2 代名詞別に年代を比較。数字=発話された回数。**



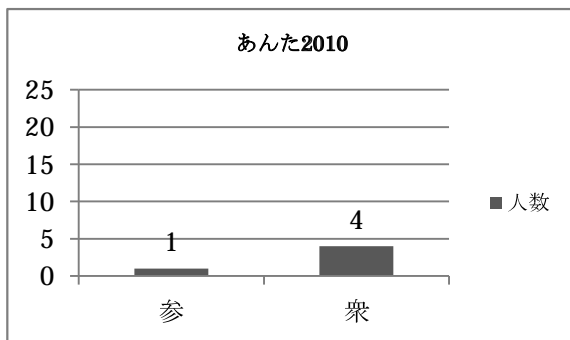
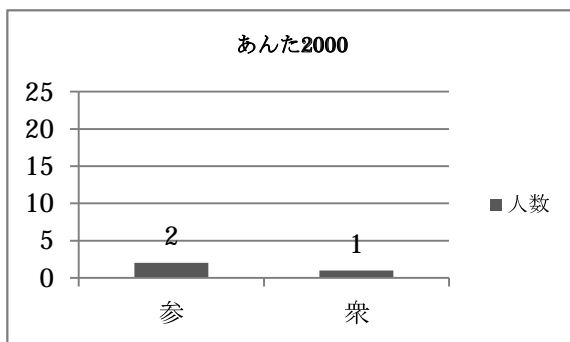
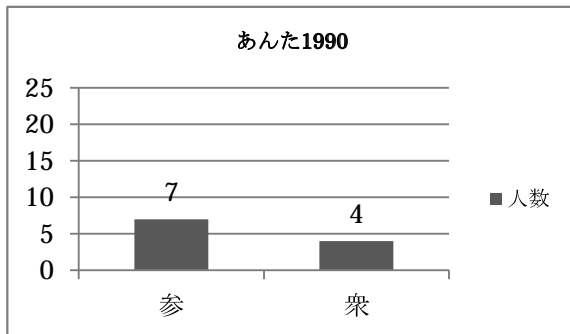
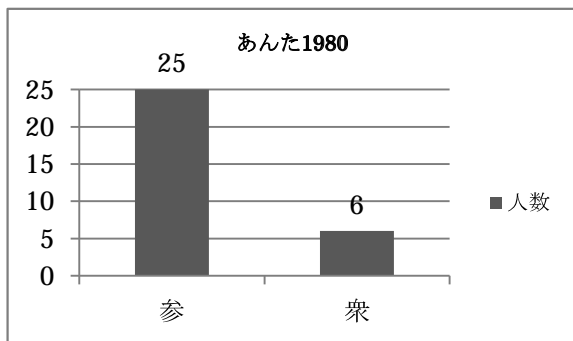
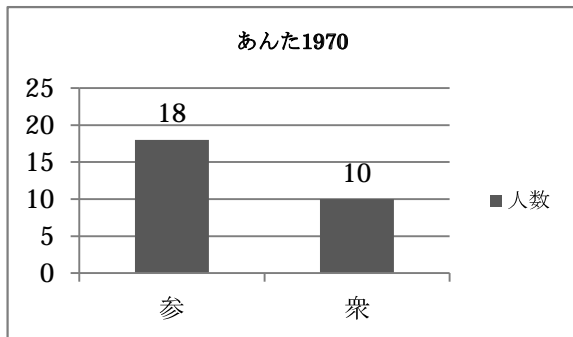
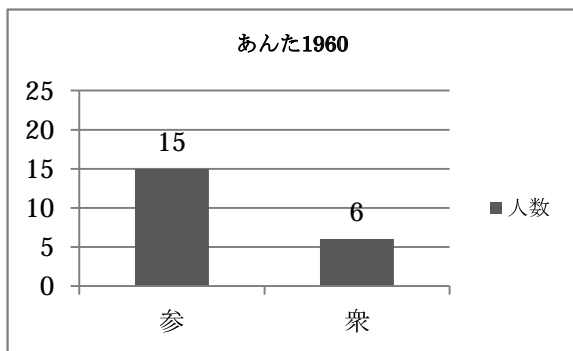
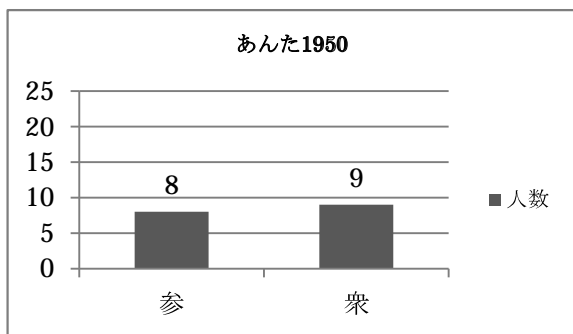


**図表4 「あんた」年代比較** 数字=発話された数  
 1950年、1960年、1970年、1回ずつ不明。  
 1950年は、30代、40代、50代が中心であったが、だんだん50代以降が中心になってきた。



**図表5 「おまえ」年代比較** 数字=発話された数  
 1950年1回不明。  
 数が少ないので何とも言えないが、30代の発言者が少ない。

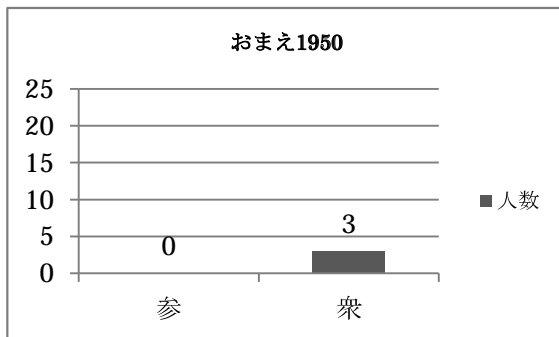
5.2.1 代名詞と年代別に衆参の比較をした。数字=人の数

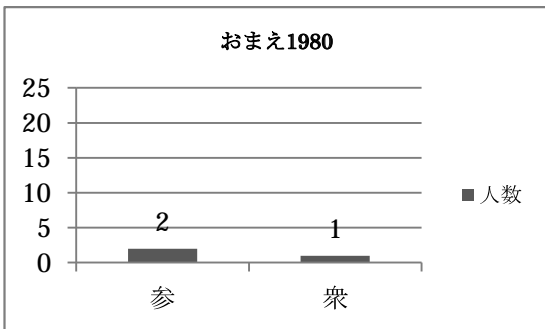
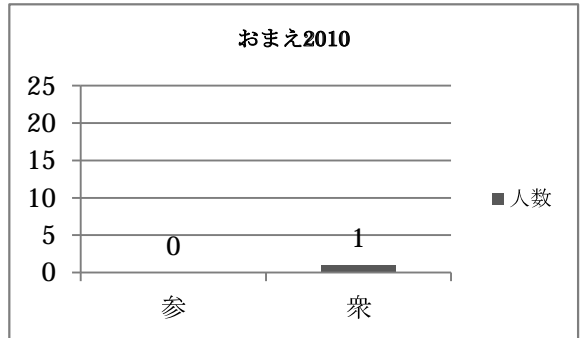
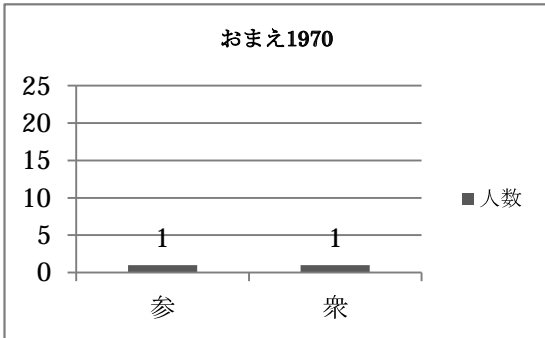
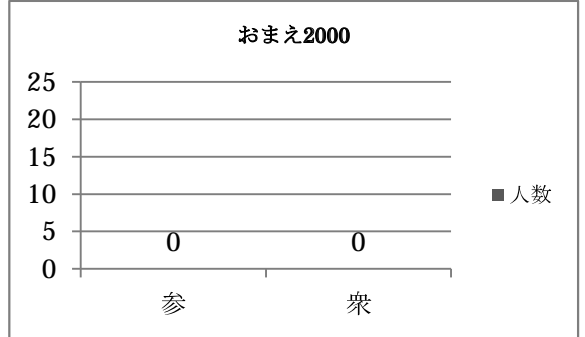
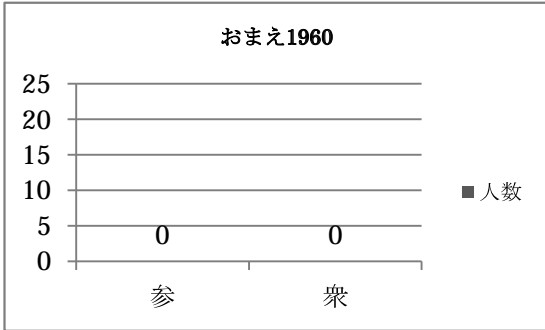


図表6 「あなた」衆参比較 数字=人の数

1950年に1人、1960年に2人、1970年に1人、不明であった。

全体的に参議院が多い。

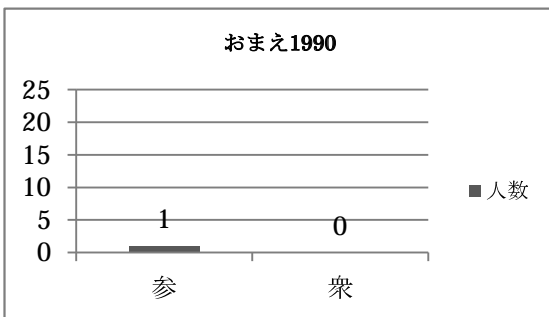




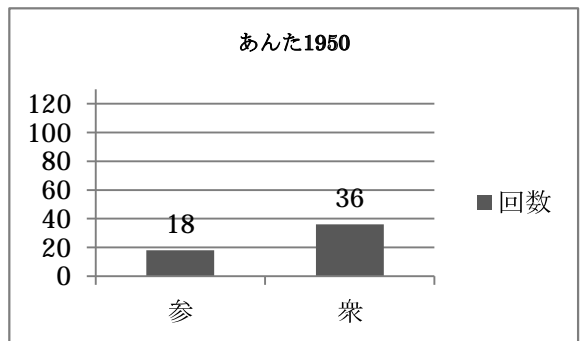
図表7 「あんた」衆参比較 数字=人の数

1950年に1人、1960年に1人、不明。

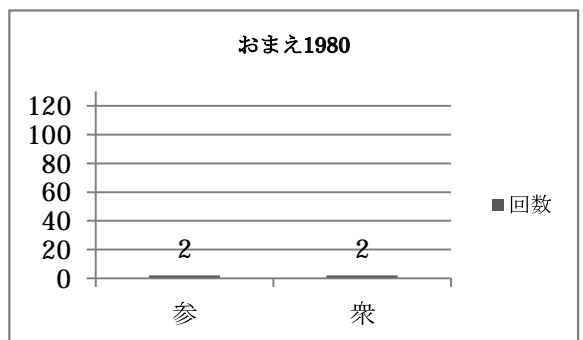
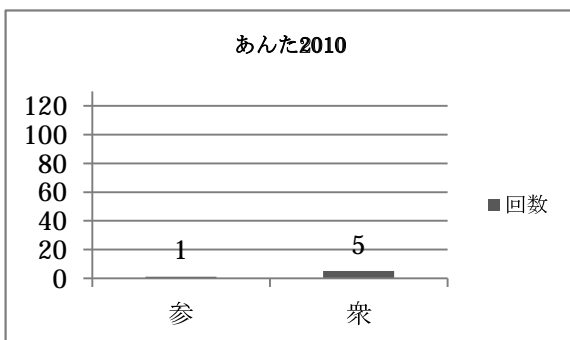
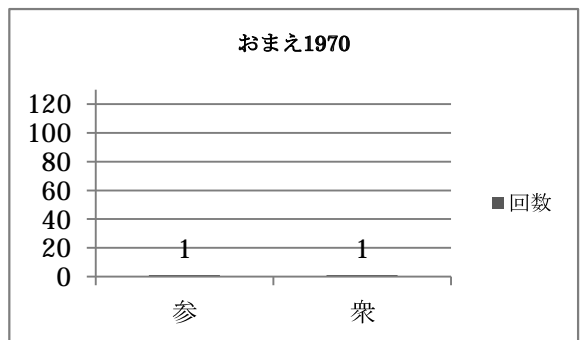
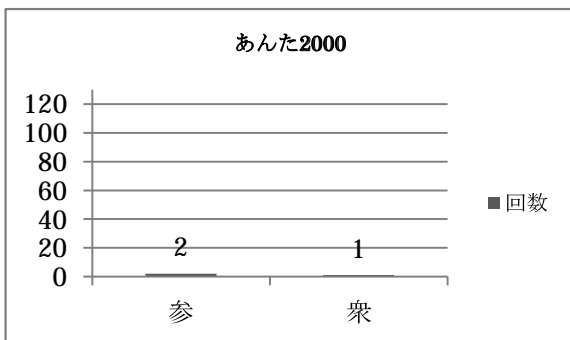
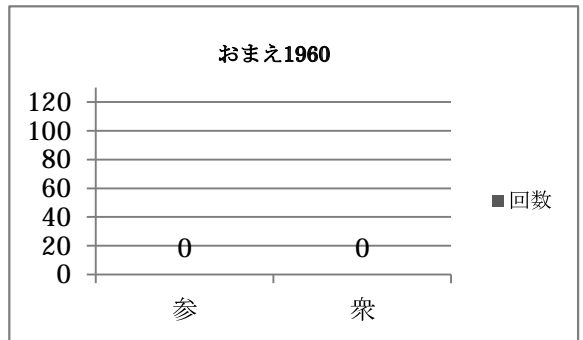
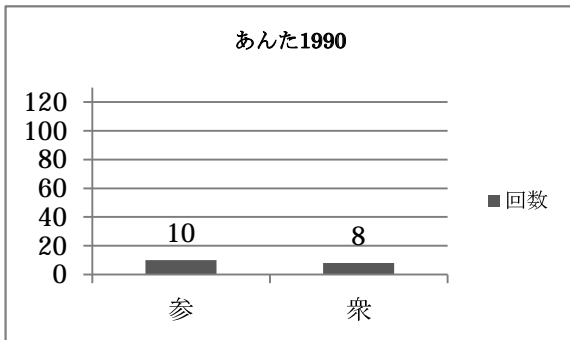
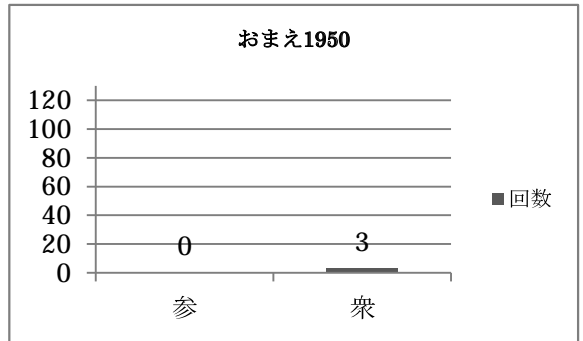
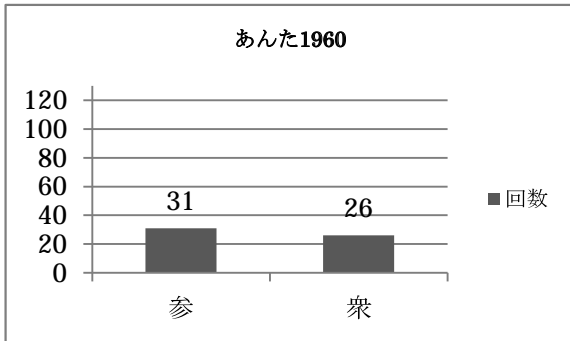
数が少ないので何ともいえない。



5.2.2 代名詞と年代別に衆参の比較をした。数字=発言された回数



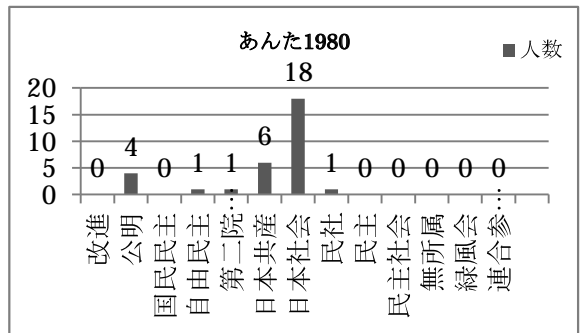
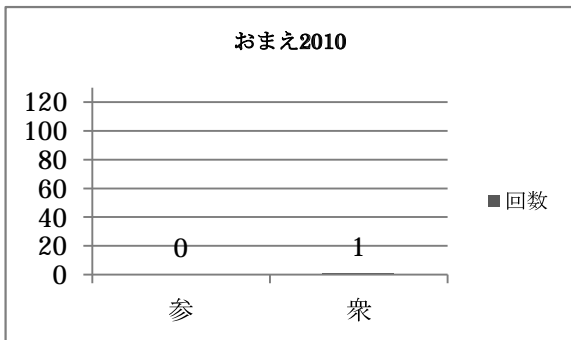
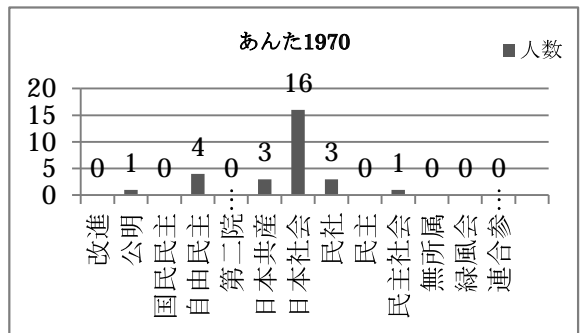
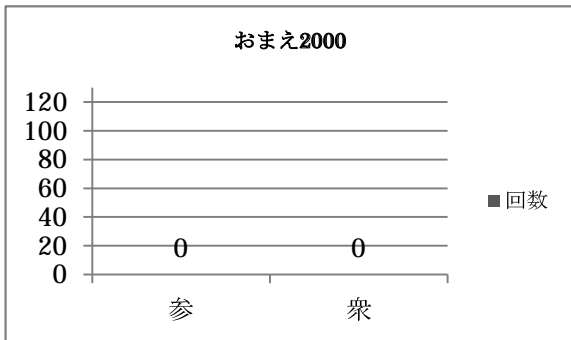
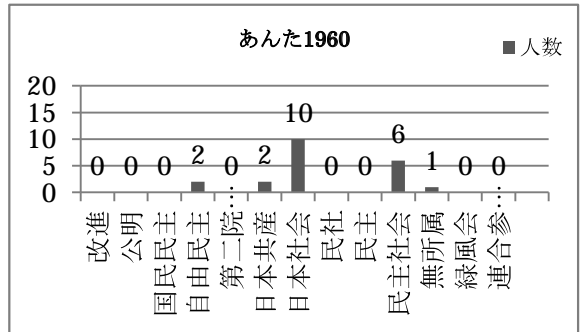
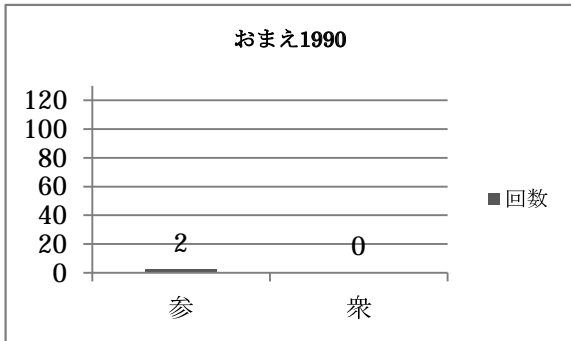




図表8 「あんた」衆参比較 数字＝発言された回数

1950年に1回、1960年に2回、1970年に1回、不明。

全体的に参議院が多い。

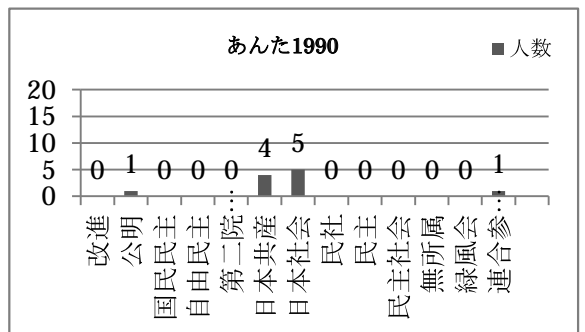
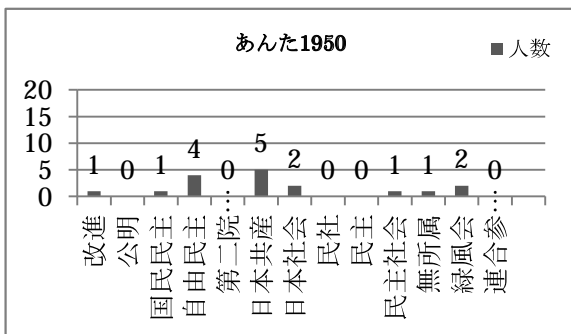


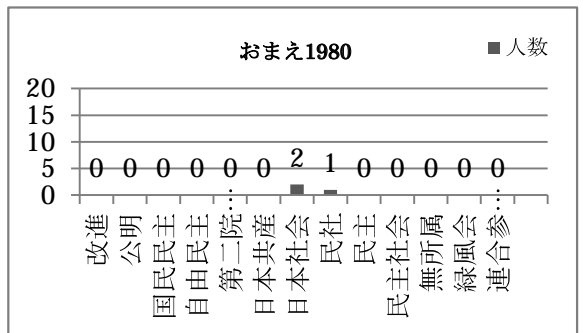
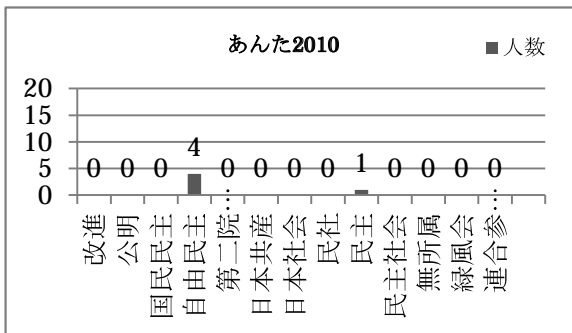
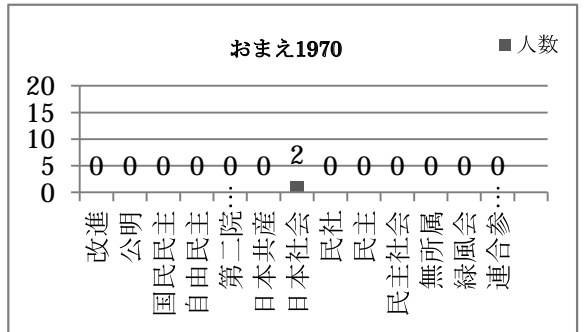
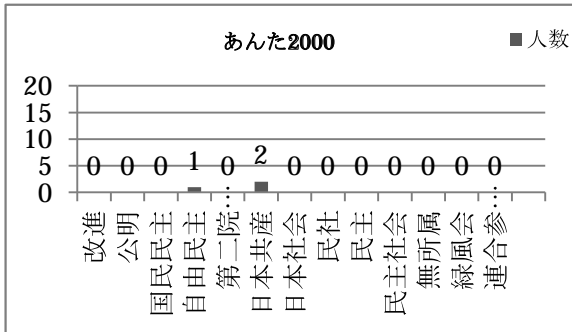
図表9 「あんた」衆参比較 数字=発言された回数

1950年1回、1960年1回、不明。

数が少ないので何とも言えない。

5.3.1 代名詞と年代別に党を比較した。数字=人の数

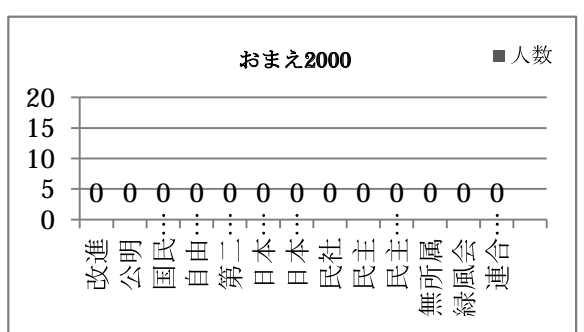
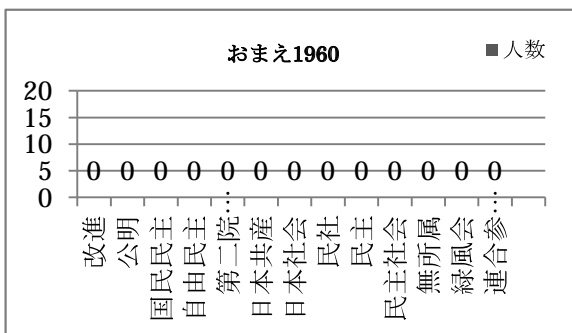
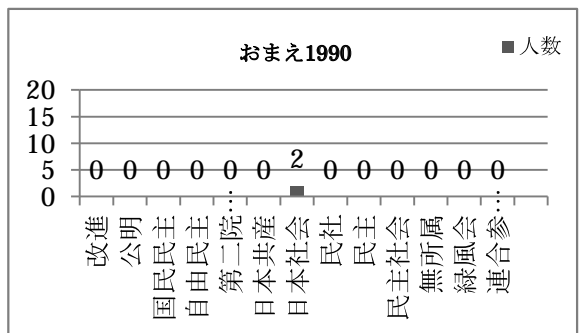
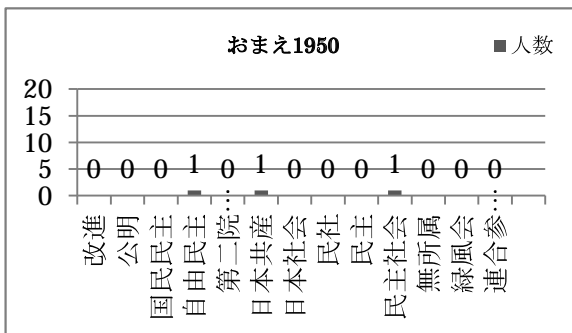


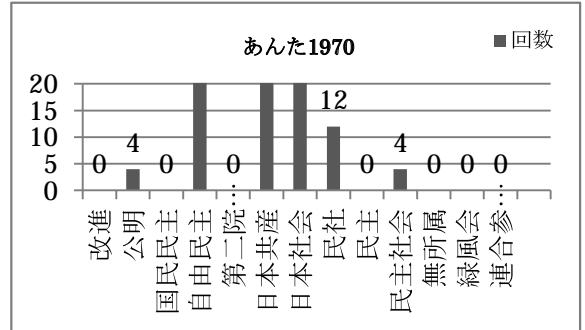
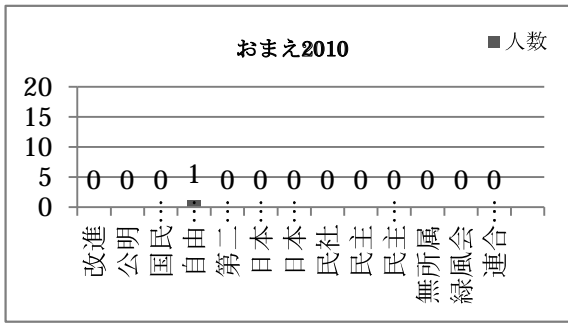


図表10 「あなた」党別比較 数字=人の数

1950年1人、1960年2人、1970年1人、不明。

日本共産党と日本社会党が多い。



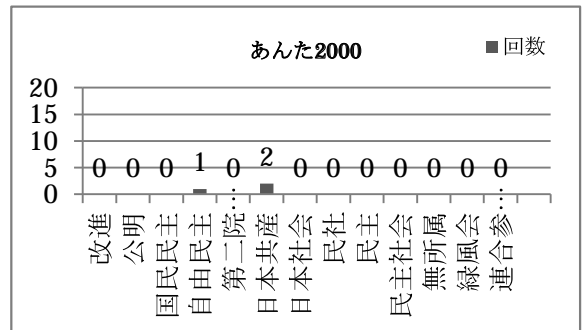
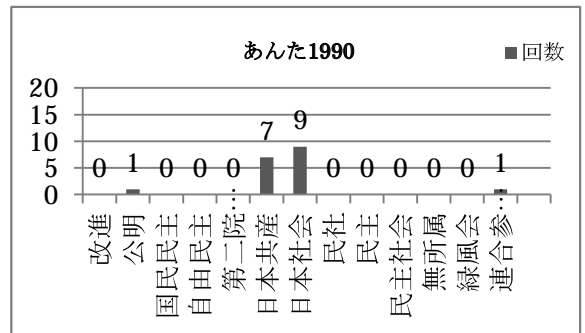
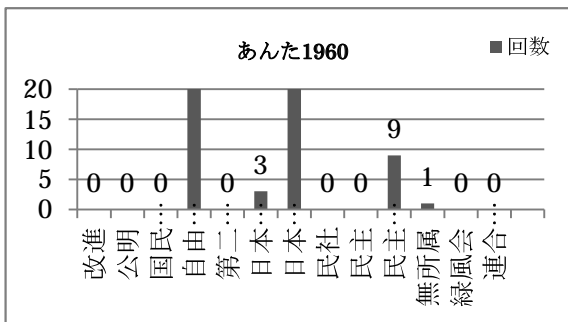
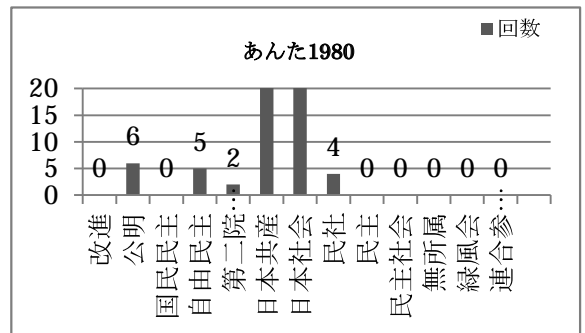
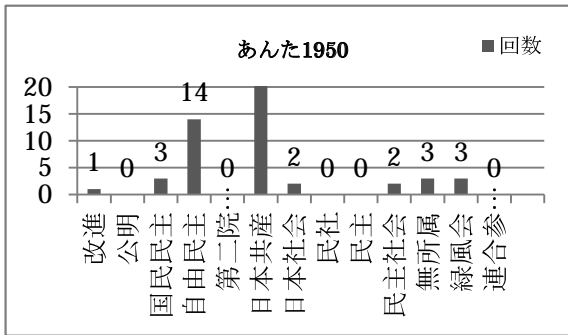


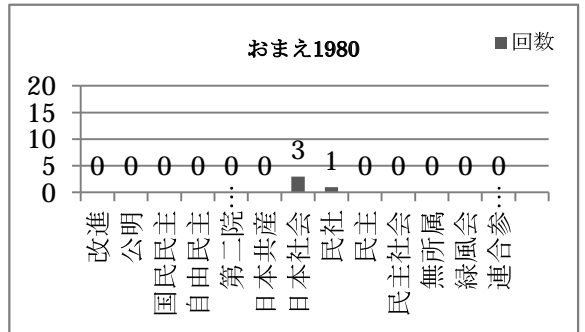
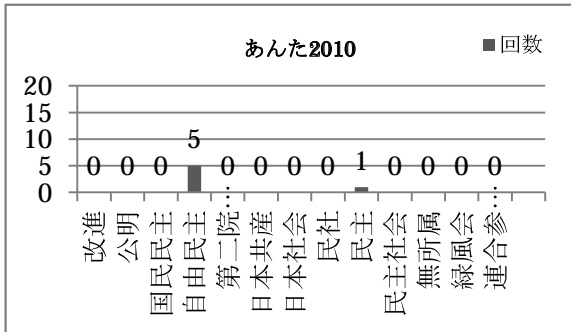
図表11 「おまえ」党別比較 数字=人の数

1950年1人、1960年1人、不明であった。

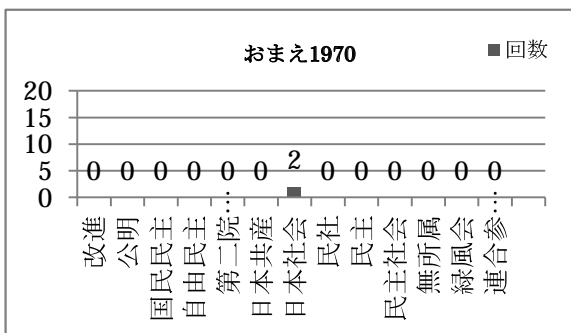
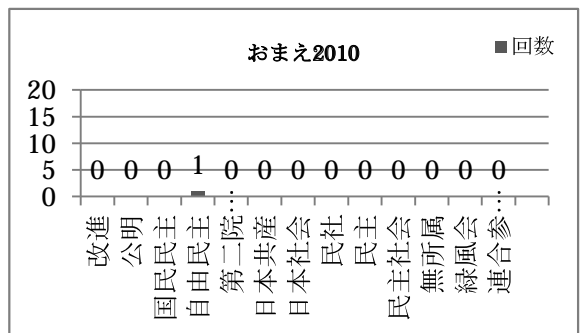
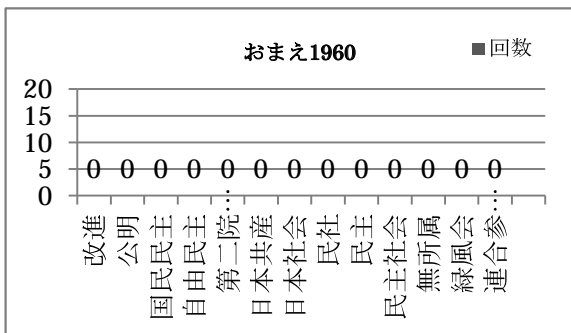
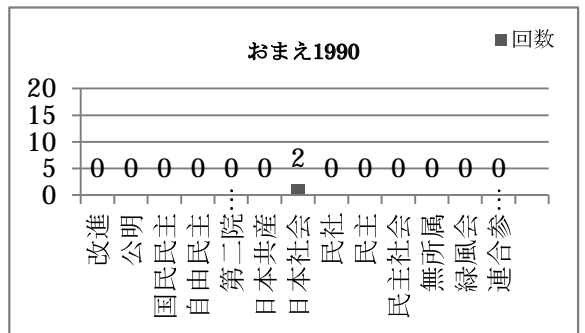
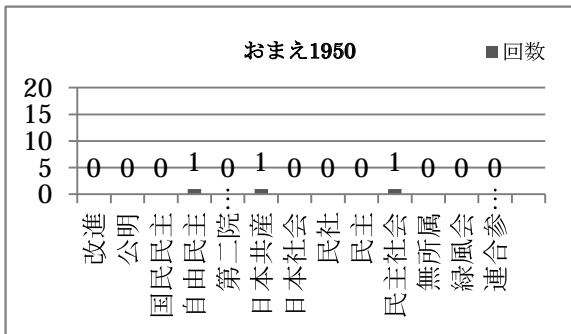
数が少ないので何とも言えない。

5.3.3 代名詞と年代別に党を比較した。数字=発話された回数。



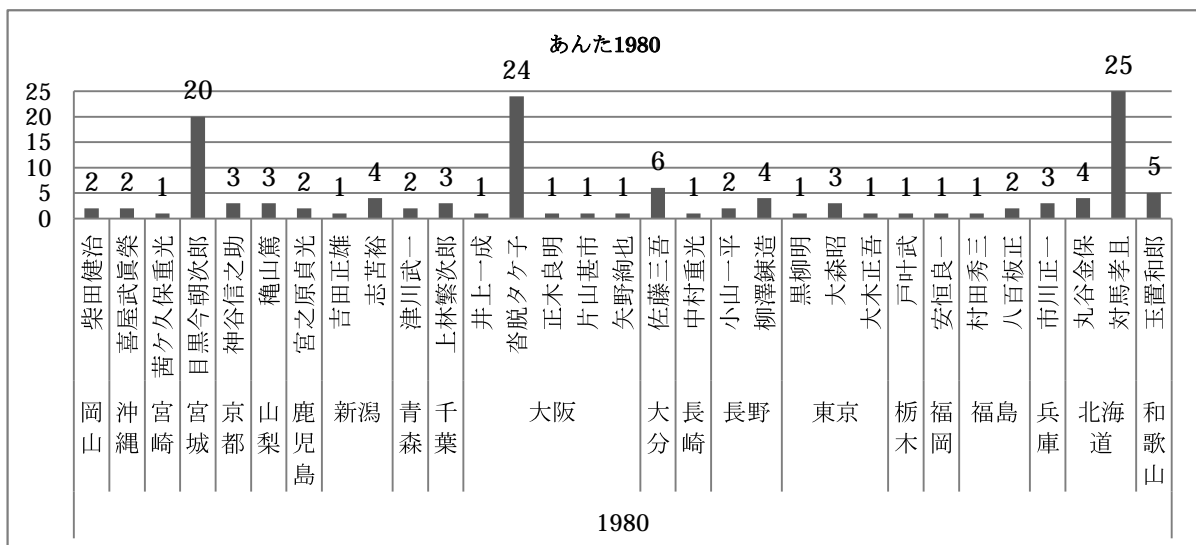
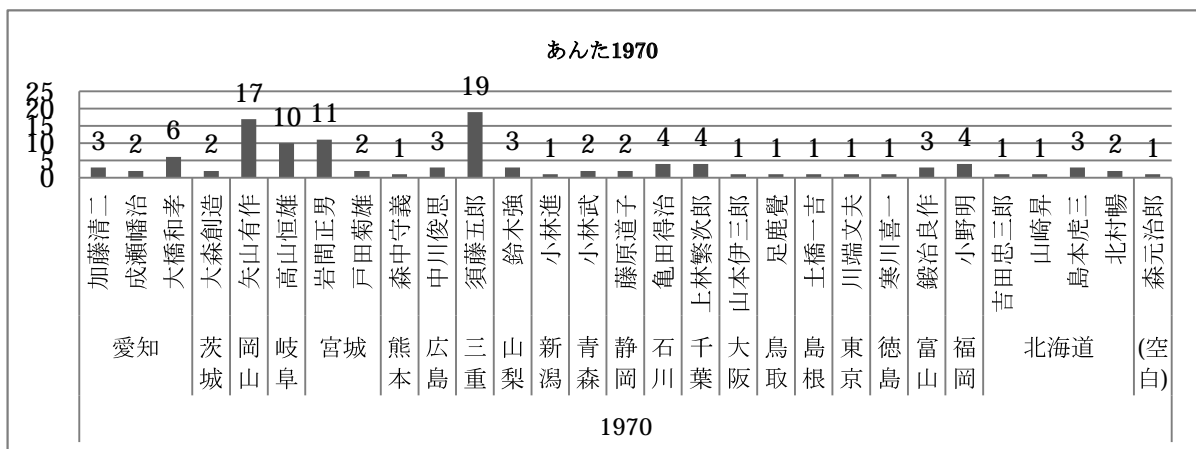
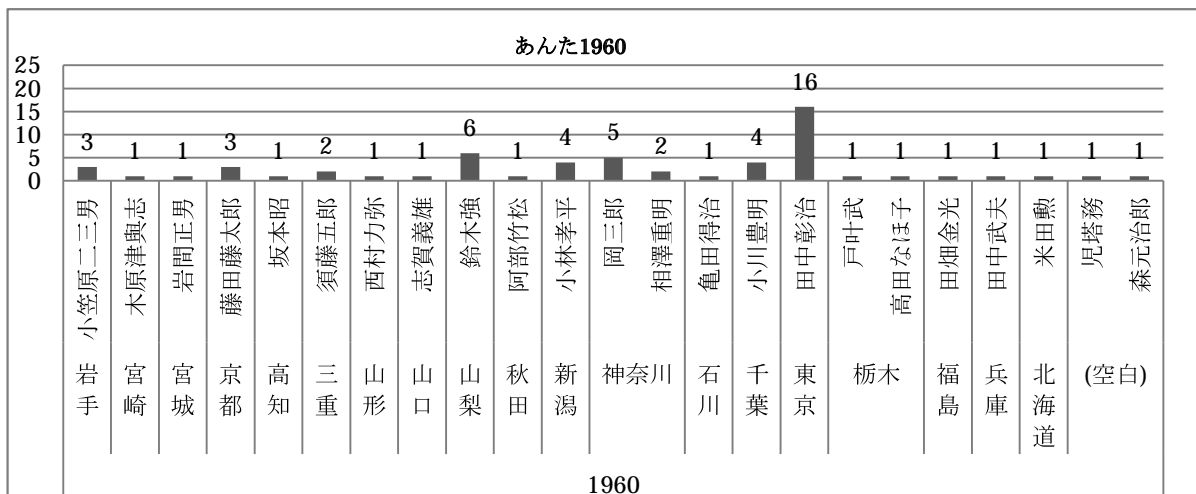


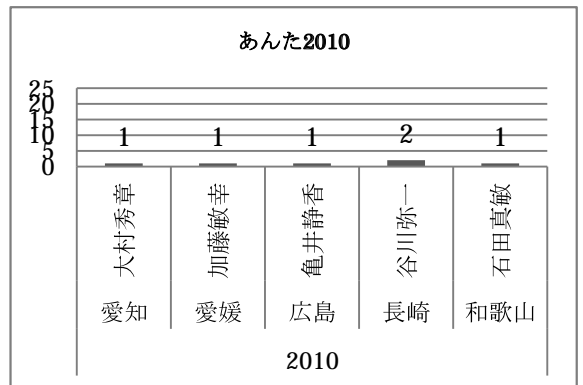
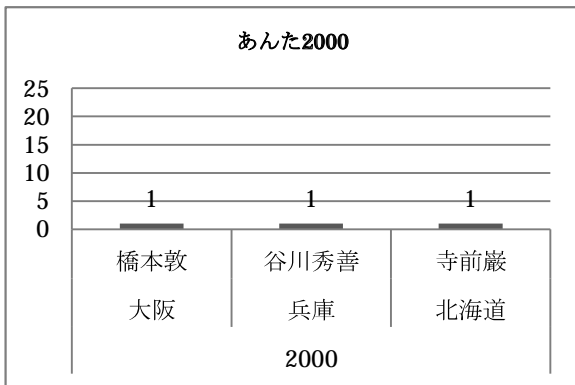
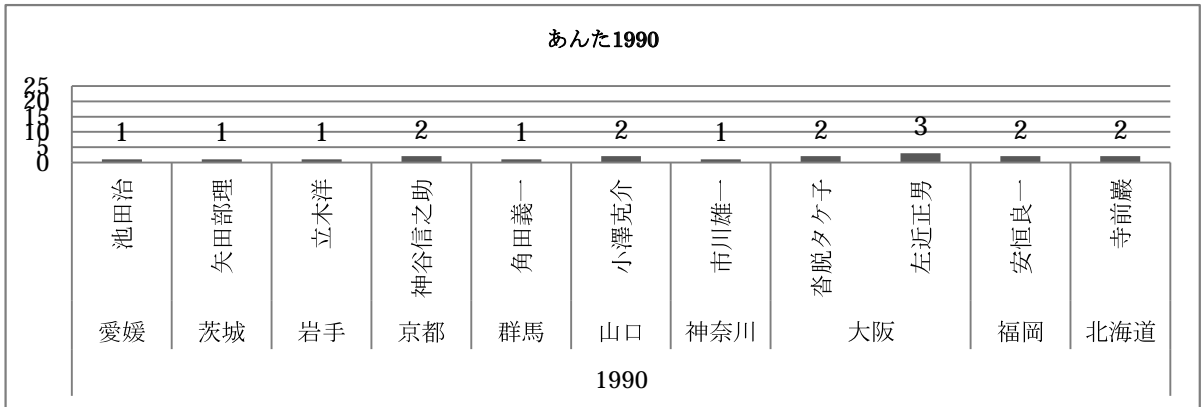
**図表 12 「あんた」党別比較** 数字＝発話された数  
 1950年1人、1960年2人、1970年1人、不明である。  
 日本共産党、日本社会党、自由民主党が多い。



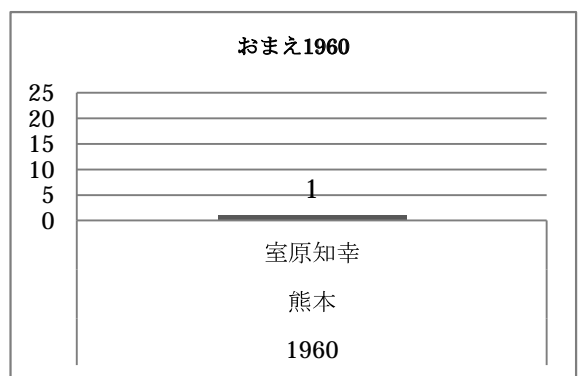
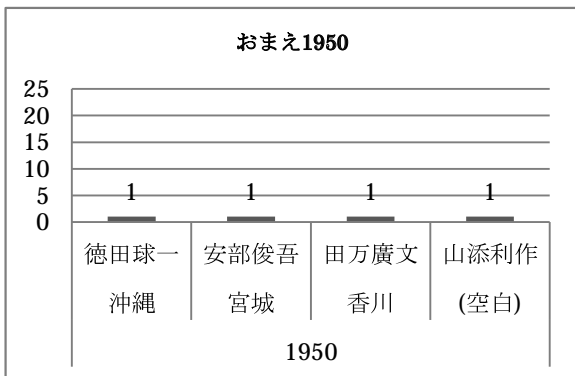
**図表 13 「おまえ」党別比較** 数字＝発話された数  
 1950年1人、1960年1人、不明である。  
 数が少ないので何とも言えない。

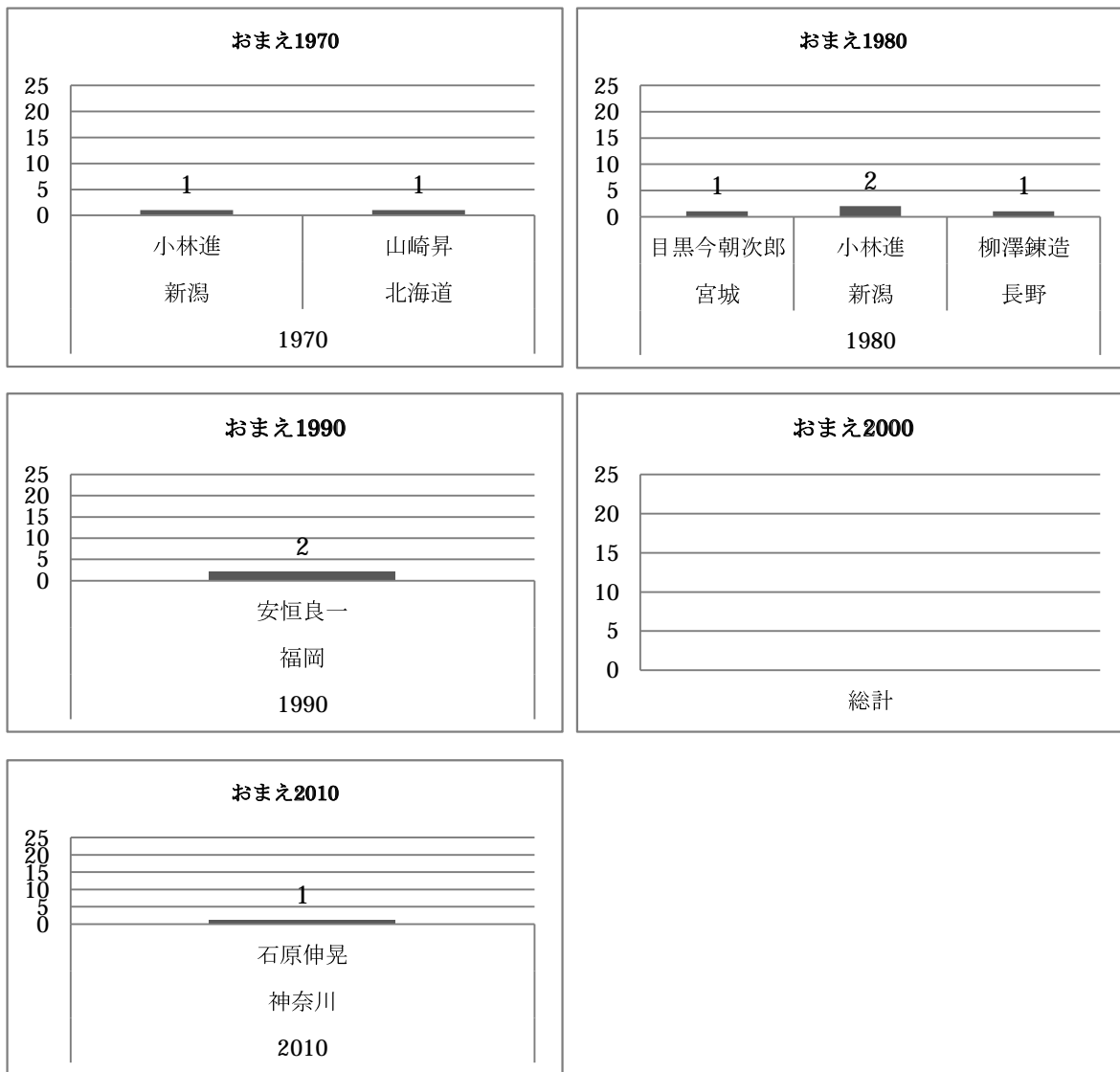
5.4 代名詞と年代別に出身地を比較した。数字＝発言された数





図表 14 「あんた」出身地比較





図表 15 「おまえ」 出身地比較

## 6. 結果

「おまえ」の発言回数は少ないので何ともいえないが、「あなた」に関しては図表を見る限り以下のことがわかった。

発言者の年代に関しては、1950 年は、30 代、40 代、50 代が中心であったが、だんだん 50 代以降が中心になってきた。

発言者の衆参別では、全体的に参議院が多い。

発言者の党では、日本共産党と日本社会党が多い。

発言者の出身地は年代によって多少多い地域はあるが、全体的にバラけているので、これから1つずつ注目していきたい。

## 7. これから

発話内容をみていく。その際、以下の3つの点に注目する。

- ・発話内容をいくつか分類する。
- ・「あなた」や「おまえ」が、ですます口調の文で使われているものが多いため数えてみる。
- ・発話の相手のプロフィールを調べる



(参考論文)

- 松田謙次郎(2008)「国会会議録を使った日本語研究」ひつじ書房
- 鎌田修(2000)「日本語の引用日本語研究叢書第2期第2巻」ひつじ書房
- 吉津麻美子(2004)「国会会議録に見る「あなた」と「私」—国会会議録を使った言語変異・変化調査」『2004年度関西大学大学院言語コミュニケーション文化研究会開講講義「社会言語学」(松田謙次郎担当)最終レポート』
- 議会制度百年史 貴族院・参議院議員名鑑 衆議院参議院 [衆議院],1990.11
- 議会制度百年史 衆議院議員名鑑 衆議院参議院 [衆議院],1990.11
- 平山輝男 (1992) 『現代日本語方言大辞典』 第1巻 明治書院
- 国会会議録検索システム
- 平山輝男(1992)「現代日本語方言大辞典」明治書院